

2012-2013年度 IM第1組報告

池田くれはロータリークラブ会長 池田 吉清
IM実行委員長 田中 隆弥

テーマ:「新世代を育てる」-米山記念奨学事業を通じ、日本と世界を結ぶ[架け橋]となる若い力を育む-

日時:2013年4月20日(土) 13:00~16:30

場所:池田市民文化会館

参加者:高島凱夫G、大森慈祥PG、若林紀男PG、新谷秀一PG、大谷 透PG、福家 宏GE、泉 博朗GN、豊島了雄AG、矢野克吉AG、秋山千尋AG、谷口 勉AG、小林和由AG、正岡 哲AGE、井上義信AGE、川崎 壽AGE、新見 葵AGE、西宮富夫AGN、磯田郁子地区研修委員、村橋義晃地区代表幹事、地区米山奨学委員会、池田ロータリークラブ、豊中ロータリークラブ、箕面ロータリークラブ、豊中南ロータリークラブ、豊中-大阪国際空港ロータリークラブ、箕面千里中央ロータリークラブ、豊中千里ロータリークラブ、米山奨学生(関西)学友会

ホストクラブ:池田くれはロータリークラブ

出席者:172名

今年度、田中作次RI会長のテーマは「奉仕を通じて平和を」とあり、高島Gは、地区方針を「育もう未来の力を〜飛躍〜」とされ、公式訪問の折には未来の地球、日本の未来を託す若い力の育成、「こころも体も健全な若い力」の育成について、今一度考えるよう仰いました。こうしたことにより今回のIMのテーマを「新世代を育てる」〜米山記念奨学事業を通じ、日本と世界を結ぶ[架け橋]となる若い力を育む〜と致しました。

米山記念奨学事業の使命は、国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これはロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。奉仕を通じてロータリー活動の誇りを再認識する観点から、日本のすべてのロータリアンが関与する米山記念奨学事業の中でも、特に世話クラブ・カウンセラー制度について理解を深めるため第一部ではパネルディスカッションを行い、そのテーマを「カウンセラーと米山奨学生」と致しました。コーディネーターを磯田郁子地区研修委員に、パネリストとして橘高又八郎氏(池田ロータリークラブ)、北村公一氏(豊中ロータリークラブ)、立花佳枝氏(豊中千里ロータリークラブ)のいずれもカウンセラー経験者と何 玉翠氏(米山奨学生学友会)にお願いしましたパネルディスカッションでは、改



めて奨学事業の意義を実感し視野を広めるよい機会となり、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会評議員の若林紀男PGの講評をもって終了致しました。

第二部の特別講演では、各種メディアにおいて幅広い分野にわたって様々な提言をされている金美齡氏をお招きし、テーマを「新世代を育てる」としてご講演を賜りました。新世代を育てる上では、受身の人間にしないこと、自ら考え行動する人にすることが大切で、そのためには想像力、判断力、分析力、洞察力などが必要であると。またこういった力を身につけるためには体力が必要で体力が最後の勝利を決めるなど、自分の人生自分で決めると生きてこられた金美齡氏の講演は、これからの日本を担う新しい世代を育てるということについて考えるよい機会となりました。

最後に、今回のIMにご出席くださいました多数の地区役員の皆様方、IM第1組の会員の皆様方に心より感謝申し上げます、ご報告とさせていただきます。

